

未来をひらく

竜爪山 九条の会

りゅうそうざん
きゅうじょうのかい

会報 2012年5月発行 通巻24号

発行 / 竜爪山九条の会・事務局

〒420-0812 静岡県葵区古庄3-19-34 五井卓方

TEL・FAX 054-264-4918

E-mail ryusouzan9@plala.or.jp

URL <http://www3.plala.or.jp/ryusouzan9/>

「発会5周年のつどい」が開かれる

「竜爪山九条の会 発会5周年のつどい」が、4月1日(日)、西奈生涯学習センターでおこなわれ、58名が参加しました。

大震災以降、憲法を活かす立場から、原発問題を追究して来た本会では、生協きたはま診療所・所長の間間元(ききま はじめ)医師を講師に迎え、「被ばくとつき合う」と題して、講演していただきました。間間先生は、自然放射線と人工放射線の違い、外部被ばくと内部被ばくの違いなど、専門的な内容をわかりやすく話されました。すでに日本の大地と海は1945年以来、ずっと人工放射線に汚染され続けてきた、つまり、「我々は広島、長崎以来、被ばくとつき合ってきた」という報告は、とてもショックでした。そして先生は、コントロールできない放射能汚染は、地球上の万人の生命権をおびやかす、と結ばれました。講演の後、食品の安全や、被ばくとガンリスク、原発のあり方などについて、質問が相次ぎました。

講演に続いて総会が行われ、1年間の活動と会計の報告が



間間先生の講演に熱心に聞き入る参加者の皆さん。
4月1日 / 西奈生涯学習センター 第一集会室にて



ありました。

その後、場所を移して懇親会がおこなわれ、聞間先生を含めて33名が参加し、原発や、今後の活動のあり方などに、話しが大いに盛り上がりました。

東下公民館で開かれた懇親会

講演の感想

アンケートに書きこんでくださった11人の皆様の全文です。

たいへんよい話でした。
こういう話は、度々聞きたいものです。 80代・女性

放射能についてよくわかりました。浜岡原発は廃炉にしても使用済核燃料をとじこめたり、汚染された炉を封じ込めるコンクリート建屋で囲って何十年も維持してゆかなければならないことがわかりました。今のうちに(核廃棄物が少ないうちに)廃炉にしてとじこめるべきです。

60代・男性

私たちは過去、現在、未来にわたり、自分の意思に関係なく被ばくとつき合っている事が、よく解りました。スライドの詳細にわたる資料がわかりやすくて良かったです。 60代・女性

今までの知識不足を実感しました。難しい問題と無意識にさけていたかもと考え直してます。もっと勉強したいと認識しました。

70代・女性

聞間先生の講演、多くの人に聞いてほしいです。竜爪山地域だけでなく。

70代・女性

非常に分りやすく勉強となりました。これから、若い人に説明するのに参考になりました。原発は絶対になくさなければと確信しました。やはり、安全に稼働、停止できるものでないといけませんね。 50代・男性

聞間先生ありがとうございました。危険物を埋めて、上に太陽光パネルを置くという案はいいですね。東北のガレキを、みんな責任持って処理するべきだと思います。

70代・女性

貴重な講演であったと思います。なかなかこういった話を聞くチャンスがなく、今日はいいい勉強となりました。聞間先生ありがとうございました。

60代・男性

いろいろな角度から、わかりやすくお話をして下さい、大変良いお話でした。それにしても、今まで、私たち庶民に知らされてこなかった点、本当にくやしい。浜岡の問題は、今すぐ、もっと真剣にとりくみ、安心できるようにしてほしい。

70代・女性

グラフや図などを使用され、わかりやすいお話でした。放射能について、もっとどんなものであるかを理解していかなければいけないなと思いました。

60代・女性

新聞、テレビ、その他で毎日、情報をチェックしていますが、不明な点があり、線と線がつながらなかった。今日の講演でだいぶつながりました。食品の安全、特に子供をもつ母親たちの考え方、政府の言ってるままでよいのか知りたかった。

70代・女性



竜爪山九条の会・活動報告

2011年3月～2012年2月

発会4周年のつどいを開催

11/03/06(日) 西奈生涯学習センター・ホール 記念講演
演題：「漱石と憲法第9条」～こんな漱石もあったんだ～
講師：北野 豊さん(11月6日、同じ演題で沼津でも講演をされました。)

憲法9条を守り活かすための新聞意見広告に参加

11/04/30(土) 読賣新聞朝刊(静岡県版)に全面広告が出ました。
県下の「九条の会」が協力して、3,271名の署名が集まりました。本会では105名の方が署名され、氏名掲載を希望されない方を含め、一口500円で156口、78,000円あつまりました。

学習会を4回開催。会場はすべて瀬名南団地集会所

- 1回目 11/04/21(木)「原子力発電」その1 参加者28名
付箋紙を使っの学習会 進行：北野さん
- 2回目 11/05/26(木)「原子力発電」その2 参加者20名
予習発表者 五井 卓さん「放射性物質と被曝」
予習発表者 北野 豊さん「原子力発電のキケン」
- 3回目 11/07/28(木)「原子力発電」その3 参加者21名
予習発表者 関 研一さん「東日本大震災と憲法9条」
予習発表者 片野 修治さん「放射能と食品の安全」
- 4回目 11/11/03(木)「原子力発電」その4 参加者20名
DVD「原爆・原発と憲法9条」を見た後、フリートーク。

11.26ひまわり集会in浜岡への参加

会より、交通費を一部補助。

会報の発行

会報19号～会報22号、4回発行しました。

事務局会議の開催(8回)

世話人会は一度も開きませんでした。

新聞意見広告・県下で3,877人の賛同者

朝日新聞5月2日（水）朝刊に、「武力で平和はつぐれない」という二色刷りの意見広告が掲載されました。県下の72の九条の会が合同で取り組み、昨年より9つも会が増えました。賛同者は昨年より606人増えて3,877人となり、氏名を掲載しない賛同者を含めると4,000人を超えました。

私たち竜爪山九条の会では、賛同者が126人、その中で氏名掲載は111人でした。口数は173口、86,500円があつまりました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。なお、賛同していただいた方には、意見広告の抜き刷りをお届けします。



→ 本会の方々の氏名が印刷されている部分です。

日本国憲法 第九条【戦争の放棄と戦力及び交戦権の否認】

- 一、日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 二、前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

私が数ヶ月遅れで入会した「竜爪山九条の会」は誕生して早5年が経過しました。その道のりは正に順風満帆と言っても過言ではないと思います。とりわけ会報の充実ぶりには目を見張るものがあり感謝感激しています。



しかし、その一方で一つだけ気になる事があります。それは会員拡大の伸び悩みです。

(2009年4月-388人、2012年5月-396人)。私はここ2、3年すっかり怠けてしまい会員の一人としてその責任を重く感じています。私だけでなく、このままの状態がいいと考えている人はいないと思います。その証拠に2011年3月発行の会報(12ページ)にもアンケートに回答された6人中3人の方が会員拡大を要望しています。

それにもかかわらず、なぜ伸び悩んでいるのでしょうか。国民投票法案を成立させた安倍内閣が崩壊し、積極的な改憲論者が鳴りをひそめていることに安心して私自身、会員拡大を怠ってしまいました。深く反省しています。そのすきに乗じるかのように最近では国会議員のみならず、いろいろな階層の人たちが改憲の動きを活発化させているのはなんとも不気味です。その最たる人物の一人が橋下大阪市長だと思えます。改憲のためには手続きを緩めるべきだと豪語しています。ここまで来たら引っ込み思案の私でも重い腰を上げようと思えます。

「竜爪山九条の会」の勢力範囲は7万人が暮らす葵区東部地域(大まかには唐瀬街道以東)です。この7万人の中から隣近所、友人、知人等を頼って、まずは1名を目標にやってみたいと思います。(5月中)。みなさんもいかがですか。400人到達は目前です。

(匿名/瀬名在住)

私も
ひとこと

原発に知らされてい なかったこと

山下亮一（瀬名在住）

ついに、日本中の原発が止まった。

待ちに待ったことだし、本当に、こんな日が来るとは思わなかった。

しかし、まだまだ再稼働を必要だとする声が多い。これは、今までの、この国の誤った施策の弊害が如実に表れているものだ。電力不足を、しきりに強調してきたが、今回は一般マスコミが、冷静に電力の状況を広く知らしめて、空振りになっているのに、電力会社と政府はごり押ししている。電気料金の値上げも、原発が稼働しないと、燃料費がかかるからと変な理屈まで言い出す始末だ。

私は、原子力は人間が処せるものではないと思っている。火力や水力でさえ、完全に安全に稼働させられるわけではない。完全に安全に廃棄物処理ができ、万が一の状況でも放射能汚染を完全除染できるようになってからでないと、原子力は使用するべきでないと考える。何としても、再稼働をさせない行動を広げていきたいと思う。



3.11メモリアル ひまわり集会in静岡

浜岡原発の永久停止・廃炉を求める市民集会在、3月11日(日)午後2時から駿府城公園で開かれました。午後2時46分、黙祷。1200人が集った会場がシーンとなりました。その後、リレートークがあり、繁華街をパレードした後、市役所裏で解散となりました。会場で、本会の皆さんを何人もお見受けしました。

浜岡原発の永久停止もさることながら、被災された皆様のことを忘れてはいけないと、改めて思う一日でした。

寺井久美子



大型トラックを演壇にした、リレートークに聞き入る東御門前広場に集った参加者。